

江南駅前交番の建設工事始まる

＝今年度中には完成の予定＝

6月議会の一般質問で、江南駅前の名鉄タクシー跡地に交番を建設できないかと、質問したのに対し、県警と名鉄が協議中との答弁がありました

その後協議がまとまり、駅前に「古知野交番」の建設工事が始まりました。来年3月には完成予定で、古知野高

校前の花霞の交番が廃止され、駅前に移ることになります。ようやく市民の熱い要望が実現します。

*また市の事業で、江南駅西側ロータリーのバス停などに、雨除けの屋根も今年度中に設置されます。



工事中の江南駅前の古知野交番



発達障害児の乳幼児期から学校卒業まで一貫した相談・支援をすすめる 宇部市

発達に障害のある子どもたちを、乳幼児期から学校卒業まで、自立や社会参加に向けて、特別支援教育推進室をつくり、専門のスタッフ3名を配属して、支援教育を実施している山口県宇部市を訪問し勉強してきました。

江南市でも、保健センターで乳幼児健診の際、発達に障害があると思われる児童について、こあら教室やひよこ教室、心理発達相談を行い、保育園や学校でも保育士や先生の加配を行って支援していますが、まだ十分な連携が取れている状況ではありません。

宇部市では、推進室を中心に総合的な支援体制が取られています。その内容は *

発達に障害のある子どもたちを、乳幼児期から学校卒業まで、自立や社会参加に向けて、特別支援教育推進室をつくり、専門のスタッフ3名を配属して、支援教育を実施している山口県宇部市を訪問し勉強してきました。

発達に障害のある子どもたちを、乳幼児期から学校卒業まで、自立や社会参加に向けて、特別支援教育推進室をつくり、専門のスタッフ3名を配属して、支援教育を実施している山口県宇部市を訪問し勉強してきました。

発達に障害のある子どもたちを、乳幼児期から学校卒業まで、自立や社会参加に向けて、特別支援教育推進室をつくり、専門のスタッフ3名を配属して、支援教育を実施している山口県宇部市を訪問し勉強してきました。

発達に障害のある子どもたちを、乳幼児期から学校卒業まで、自立や社会参加に向けて、特別支援教育推進室をつくり、専門のスタッフ3名を配属して、支援教育を実施している山口県宇部市を訪問し勉強してきました。

発達に障害のある子どもたちを、乳幼児期から学校卒業まで、自立や社会参加に向けて、特別支援教育推進室をつくり、専門のスタッフ3名を配属して、支援教育を実施している山口県宇部市を訪問し勉強してきました。

市議会厚生文教委員会で
発達障害児の支援や高齢者見守り活動などの
先進市を視察 11月25・26日

発達に障害のある子どもは、自分のペースを乱されるとかんしゃくを起こしたり、一つのことに執着したり、コミュニケーションをとることが苦手だったりときまぎ

また、年4回特別支援教育担当者会議を行い、個別の事例検討や、情報の共有、問題点の把握などに努めているとのことでした。

江南市でも、関係機関が連携し、発達支援のネットワークづくりが必要だと痛感しました。

発達障害の人たちが、個々の能力を伸ばし、自立していくためには、子どものうちからの「気づき」と「適切なサポート」が大切であり、そのことを理解する周りの支援が何よりも必要です。

発達に障害のある子どもは、自分のペースを乱されるとかんしゃくを起こしたり、一つのことに執着したり、コミュニケーションをとることが苦手だったりときまぎ

また、年4回特別支援教育担当者会議を行い、個別の事例検討や、情報の共有、問題点の把握などに努めているとのことでした。

江南市でも、関係機関が連携し、発達支援のネットワークづくりが必要だと痛感しました。

発達に障害のある子どもは、自分のペースを乱されるとかんしゃくを起こしたり、一つのことに執着したり、コミュニケーションをとることが苦手だったりときまぎ



江南市議会
12月定例会
12月2日(金)開会
一般質問は、7・8・9日の予定ですが、正式には11月25日の議運で決まります。



日本の食糧は
日本の大地から
TPP参加に反対です!!



ほんま、頼りになります!! 尼崎市高齢者等見守り安心事業

江南市でも、一人暮らし高齢者の世帯が増え、孤独死なども出ています。高齢者の見守り、サポートチームを作った活動している兵庫県尼崎市を視察しました。

尼崎市は、人口45万人を超え、65歳以上の一人暮らしの世帯が32,000世帯あり、孤独死も年間数十件となり、悲劇を未然に防ぐと地域ぐるみの見守り隊が結成されることになったとのこと。

21年度に、高齢者の実態把握と見守りを希望するかに65歳以上の5000世帯にアンケートを実施。その中から2地区を見守り活動のモデル地域として指定。

見守り協力員が、アンケートで見守りを希望する高齢者宅へ、週1回程度の訪問や声かけを行い、希望しない高齢者宅も、郵便物がたまっていないかなど外から注意を払いつつ、声かけなども行う見守りの活動が始まりました。

22年度には、社会福祉協議会に事業を委託し、地区で見守り推進委員や協力員、民生委員やボランティアをすいせんし、高齢者等見守り安心委員会が発足。